



**SANDEN**

Delivering Excellence

# SANDEN HD

2017年3月期  
決算説明会資料

2017年5月10日

サンデンホールディングス株式会社

執行役員 財務本部長 **下村 卓**

## 1. FY2016 決算実績

## 2. FY2017 業績予想

## FY2016 決算実績

- ◆ 連結決算要約 実績
- ◆ 事業別 連結決算要約 実績
- ◆ 連結BS要約 実績

(単位：億円)

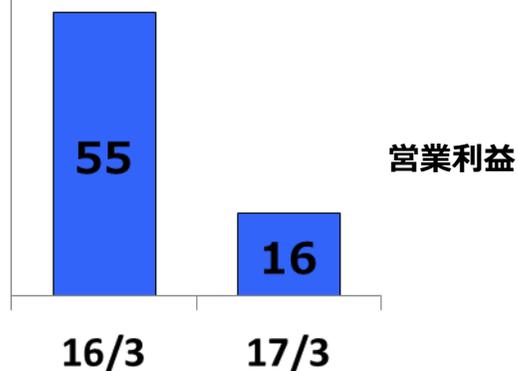
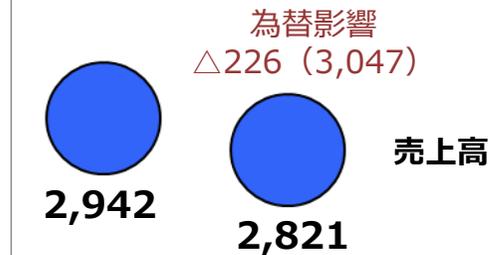
	2016/3期 実績	2017/3期 実績	前年差 (%)	
売上高	2,942	<b>2,821</b>	△122	(△4.1)
営業利益	55	<b>16</b>	△39	(△71.2)
経常利益	61	△ <b>23</b>	△84	(-)
当期純利益 <sup>※</sup>	70	△ <b>225</b>	△295	(-)

※親会社株主に帰属する当期純利益

為替	USD	120円	<b>108円</b>	△12円
	EUR	133円	<b>119円</b>	△14円

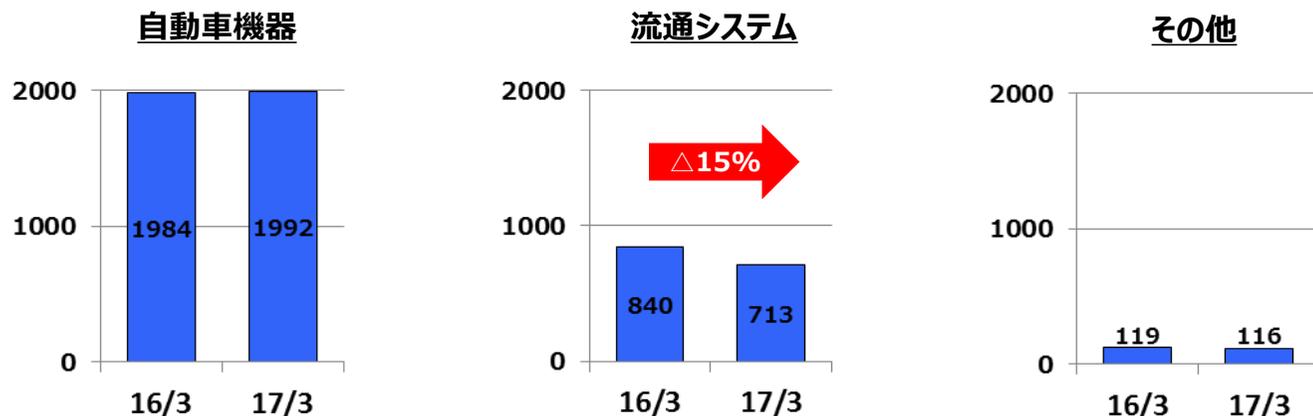
※為替：市場平均レート

(単位：億円)



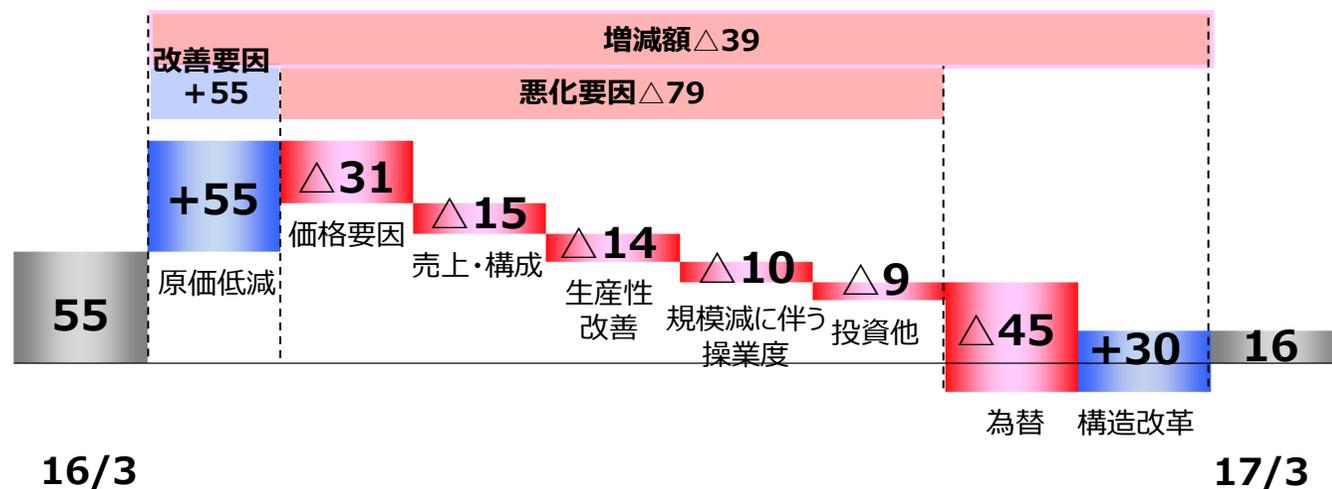
## 売上高 2,821億円 (前期比△4%)

(単位：億円)



## 営業利益

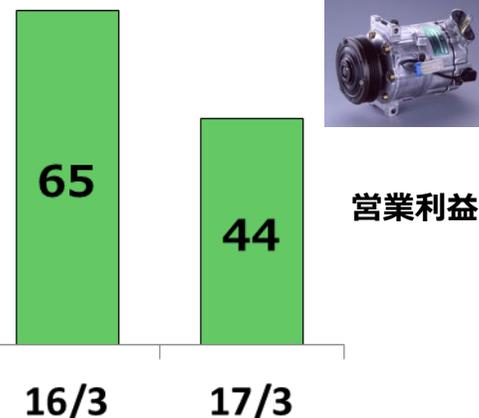
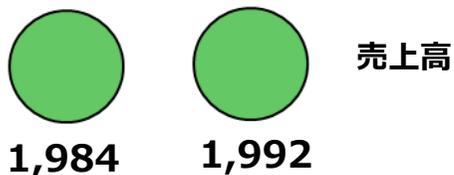
(単位：億円)



# 事業別 連結決算要約 実績（自動車機器）

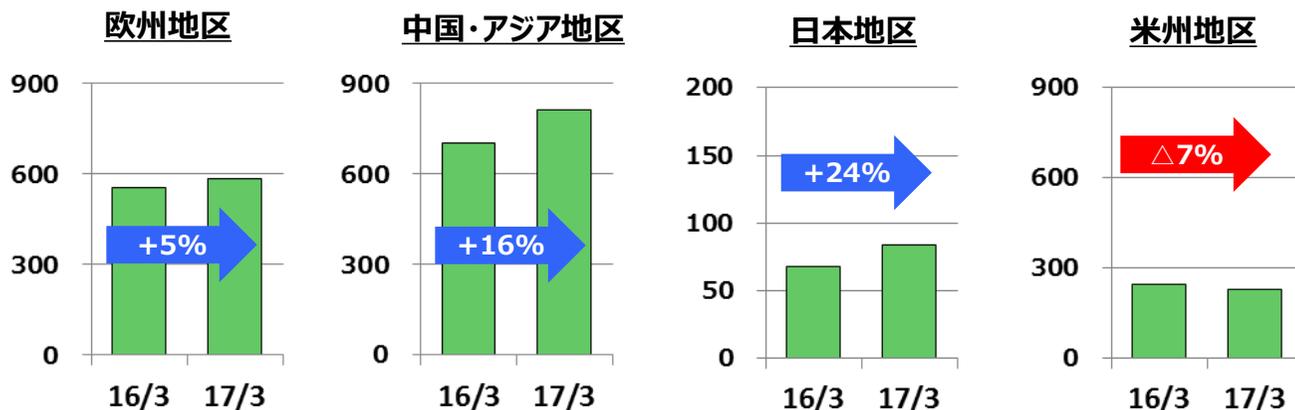
(単位：億円)

為替影響  
△206 (2,198)



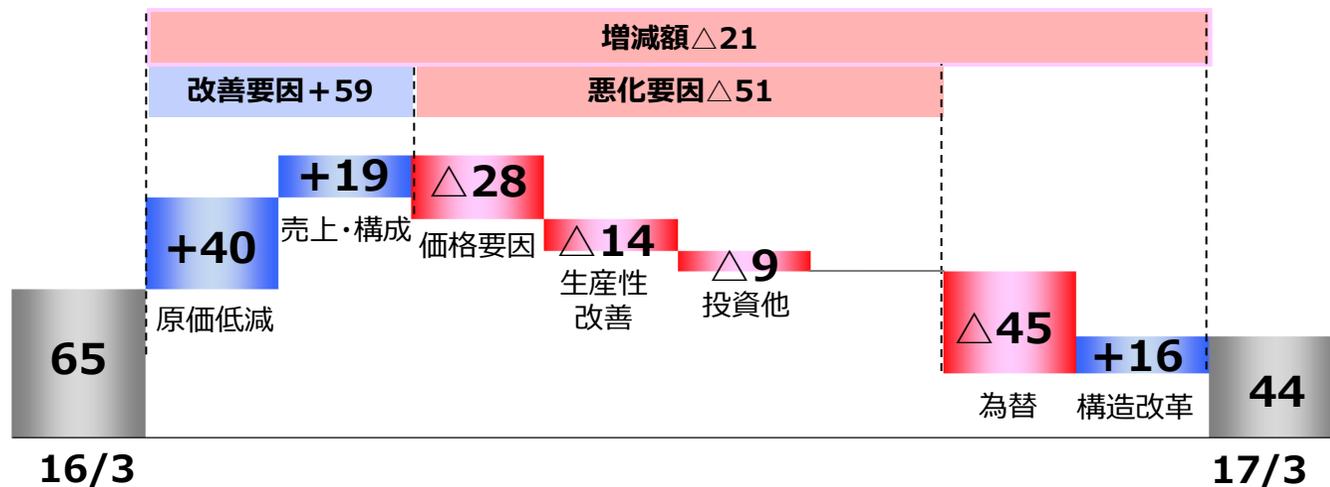
(単位：万台)

## コンプレッサ販売台数 1,710万台（前年比+9%）



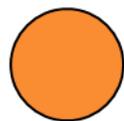
(単位：億円)

## 営業利益



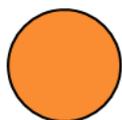
# 事業別 連結決算要約 実績 (流通システム)

(単位：億円)



840

為替影響  
△3 (716)



713

売上高



19

-4

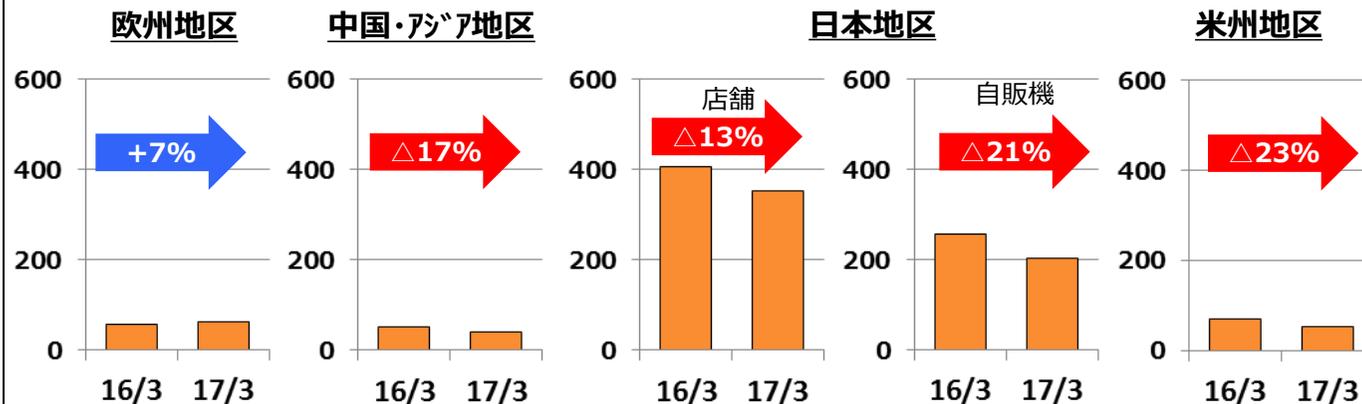
営業利益

16/3

17/3

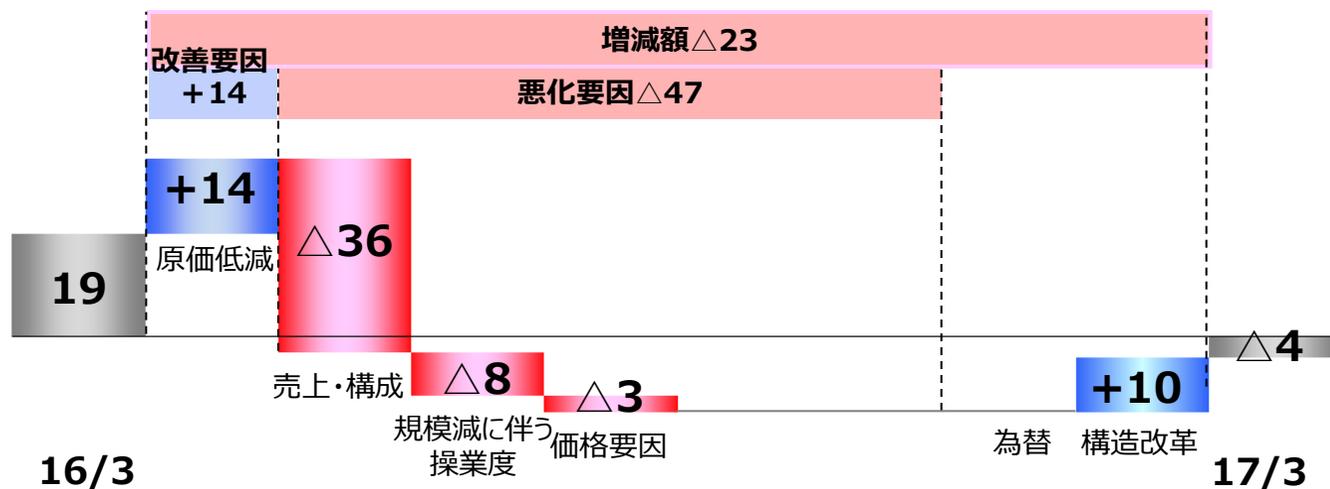
## 売上高 713億円 (前年比△15%)

(単位：億円)



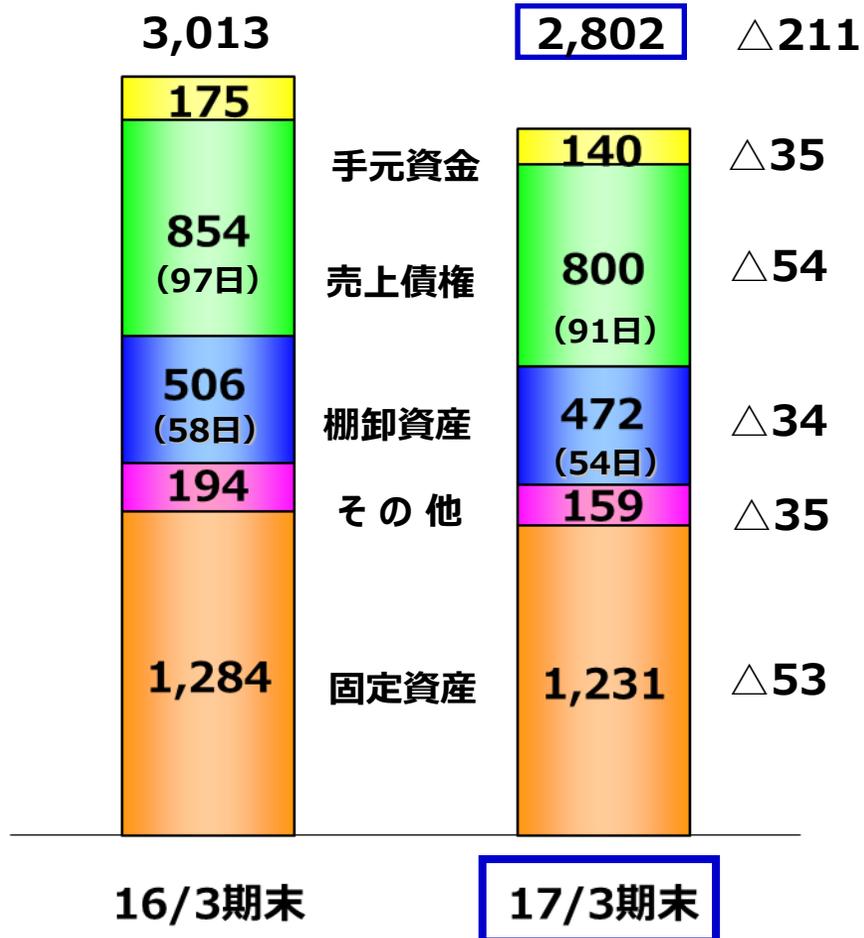
## 営業利益

(単位：億円)

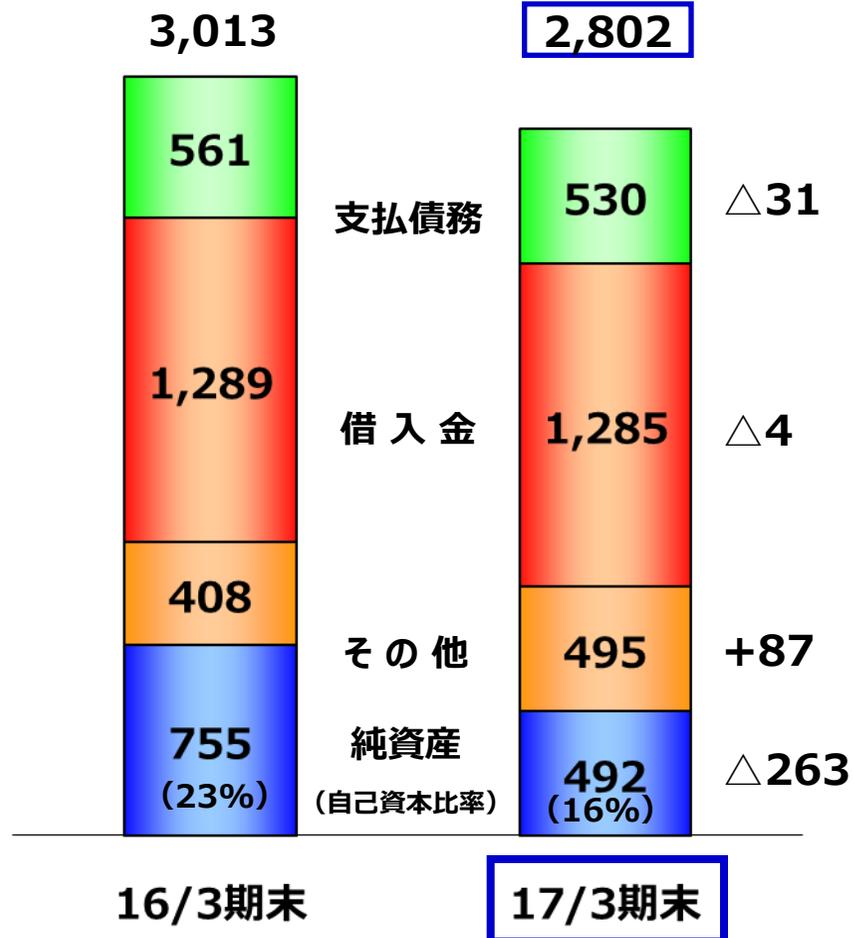


(単位：億円)

## 資産の部



## 負債・資本の部



※為替レート：\$=113、€=128

\$=112、€=120

※手持日数：直近3ヶ月の売高を基礎に算定

※自己資本比率：(純資産 - 少数株主持分) / 総資産

## 1. FY2016 決算実績

## 2. FY2017 業績予想

## FY2017 業績予想

- ◆ 連結決算要約 予想
- ◆ 構造改革進捗状況
- ◆ 事業別 連結決算要約 予想
- ◆ 連結設備投資 予想

# 連結決算要約 予想

(単位：億円)

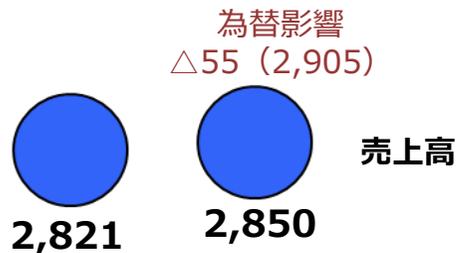
	2017/3期 実績	2018/3期 予想	前年差 (%)	
売上高	2,821	<b>2,850</b>	+29	(+1.0)
営業利益	16	<b>50</b>	+34	(+216.1)
経常利益	△23	<b>40</b>	+63	(-)
当期純利益 <sup>※</sup>	△225	<b>20</b>	+245	(-)

※親会社株主に帰属する当期純利益

為替	USD	108円	<b>105円</b>	△3円
	EUR	119円	<b>115円</b>	△4円

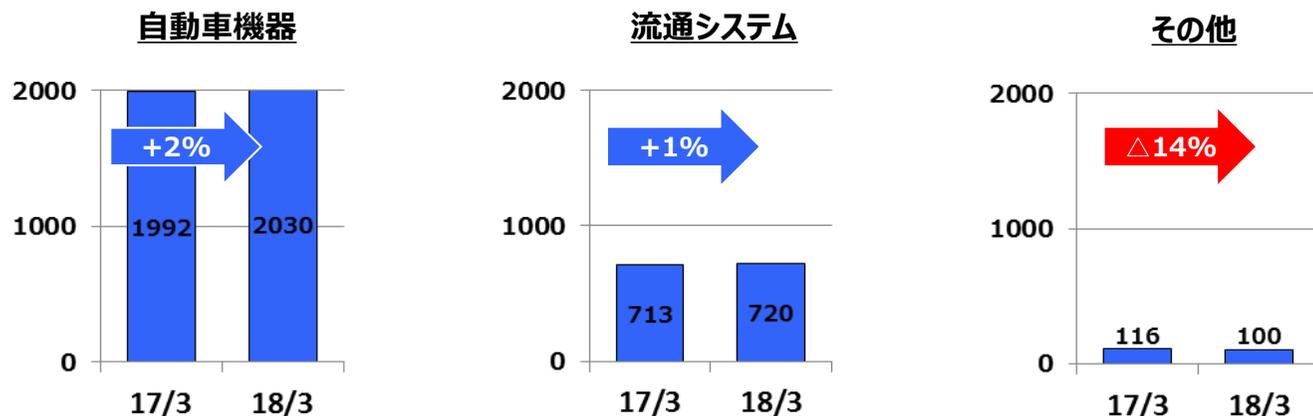
※為替：市場平均レート

(単位：億円)

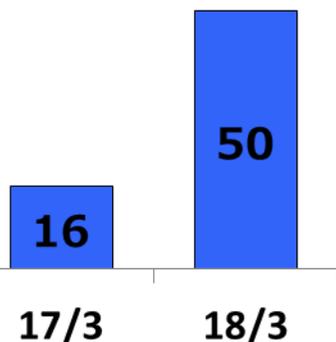


## 売上高 2,850億円 (前期比+1%)

(単位：億円)

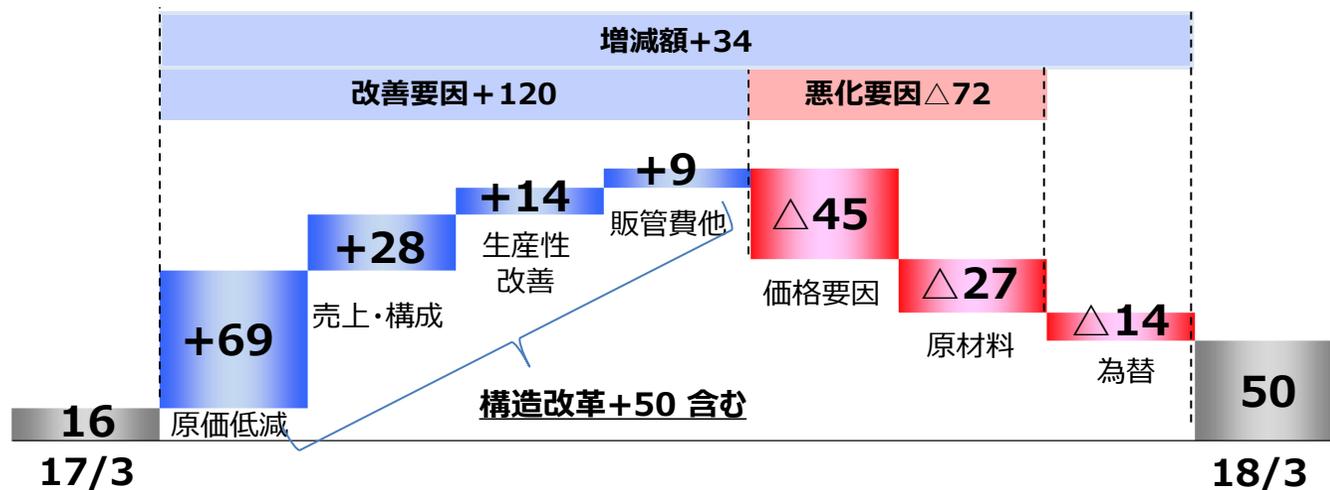


営業利益



## 営業利益

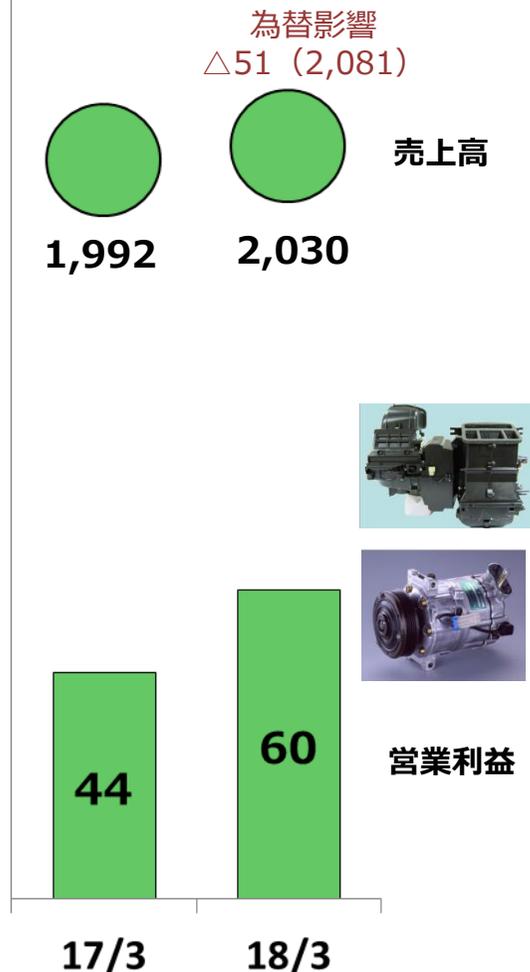
(単位：億円)



	2016年8月発表時	現在の状況
① 事業ポートフォリオの見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>市場／技術の両軸より、各事業の位置付け明確化、方針決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不採算事業をゼロベースで見直し</li> <li>国内住環境事業の縮小</li> </ul>
② 拠点・組織の統廃合・再編	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバルにおける拠点・組織の統廃合・再編を推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内製造子会社、米州、アジアにおける再編</li> <li>旧東京本社ビル売却</li> </ul>
③ 人員の適正化と最適配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の環境変化を見据えた人員体制の最適化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内で希望退職プログラムを実施</li> <li>グローバルにおいても人員適正化実施</li> </ul>
④ 投資の選択と集中	<ul style="list-style-type: none"> <li>案件の合理化による投資の見直し、及び成長領域への重点配分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポートフォリオに基づく投資判断の実施</li> </ul>
⑤ グローバル最適調達の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>調達戦略の見直しによるグローバルでのQCD強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>競争購買と集中購買の推進</li> <li>グローバル最適化</li> </ul>
⑥ 経費の抜本的見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>全業務における“ムダ”の総点検と、一層のコスト削減の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>欧州物流拠点の集約</li> <li>CAE活用による試作費低減</li> <li>間接材の集中購買の実施</li> </ul>
⑦ 財務体質改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>運転資本の適正化、及び資産効率の改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>回収サイトの短縮交渉・債権流動化</li> <li>現調化促進継続</li> <li>資産の流動化</li> </ul>

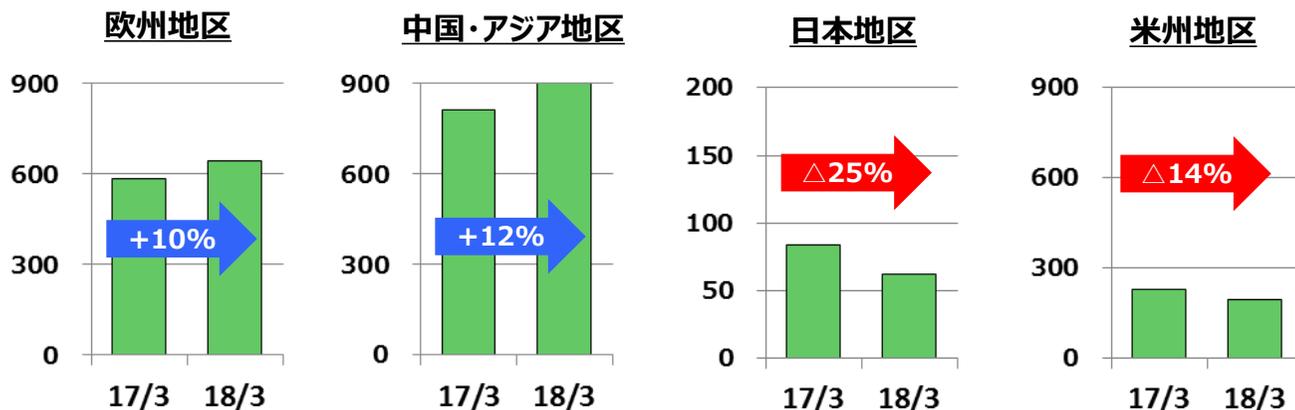
# 事業別 連結決算要約 予想 (自動車機器)

(単位：億円)



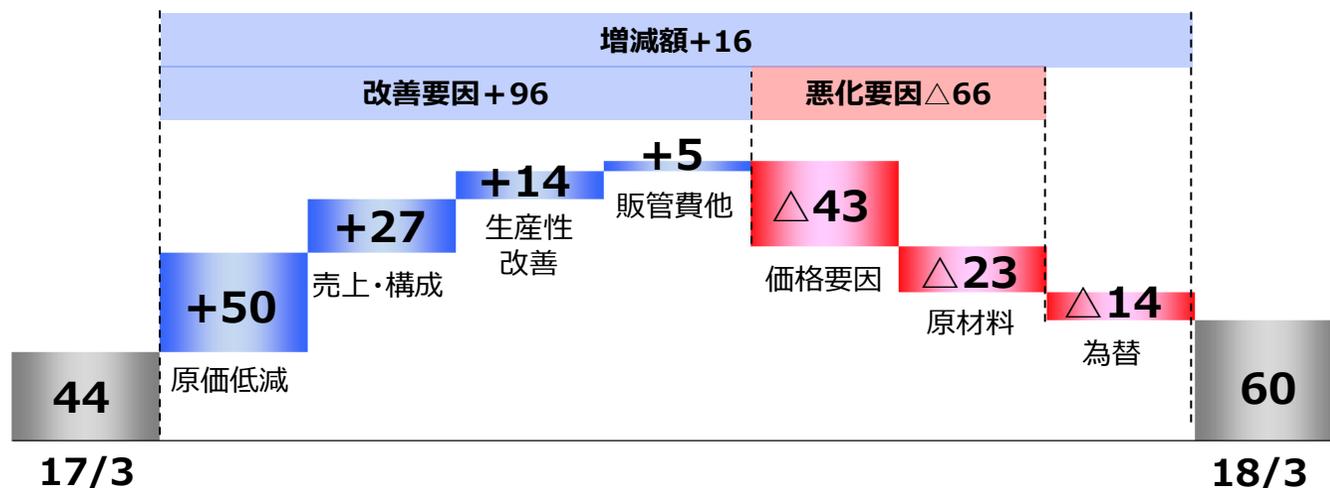
## コンプレッサ販売台数 1,820万台 (前年比+6%)

(単位：万台)



## 営業利益

(単位：億円)



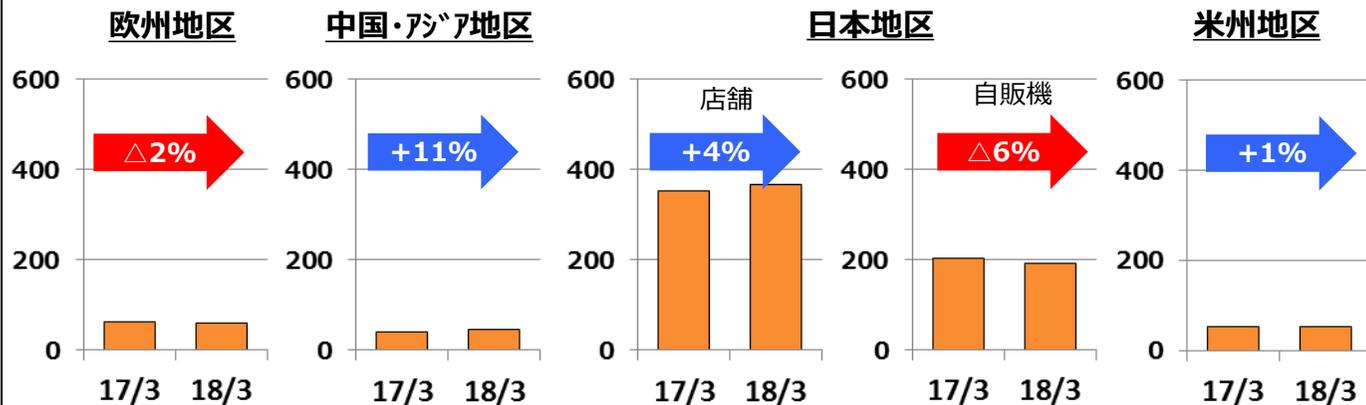
# 事業別 連結決算要約 予想 (流通システム)

(単位：億円)



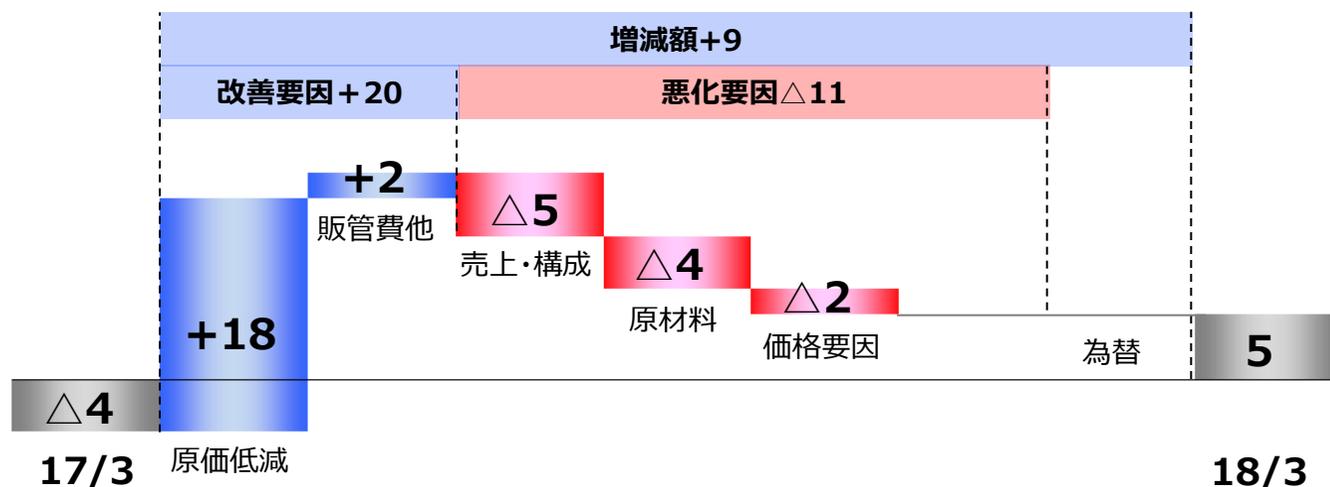
(単位：億円)

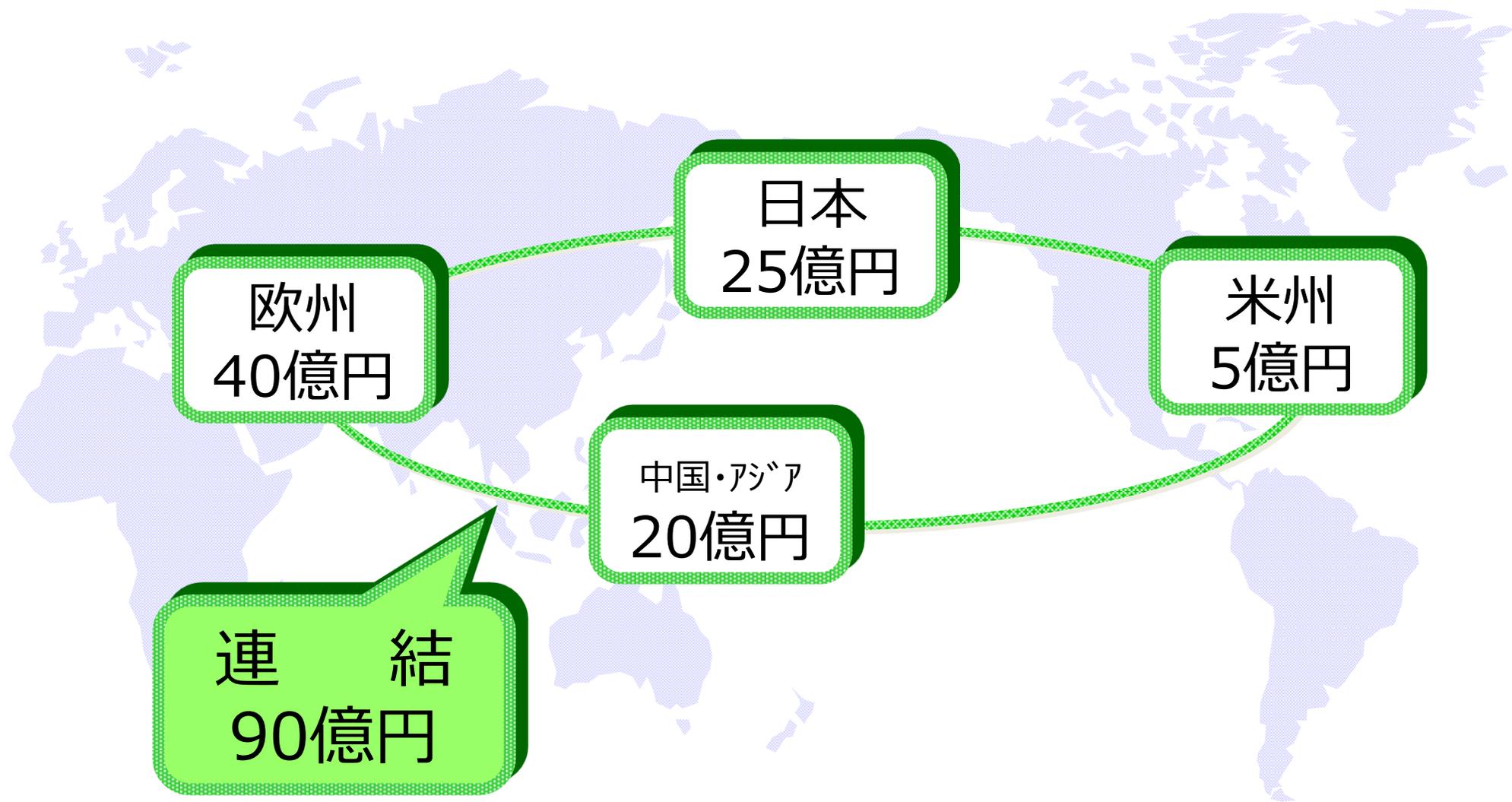
## 売上高 720億円 (前年比+1%)



(単位：億円)

## 営業利益







### **見通しに関する注意事項**

※前述の将来の業績に関する予想、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の予想と、見通しとは異なる場合のあることをご承知下さい。そのような要因としては、主要市場の経済環境及び製品需要の変動、為替相場の変動及び国内外の各種規制並びに会計基準・慣行等の変更があげられます。